

				科目コード <sup>①</sup>	168
科目名	疫学 (Epidemiology)			開講学科	看護学科・臨床検査学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (30 時間)	履修時期	2 年次後期
担当教員	鳥居 順子、斉藤 功*、岡田 克俊*			科目区分	専門基礎科目
授業概要	疫学的調査、研究方法、解釈にあたって必要な指標や既存の知識、疫学の効用と限界、感染症の疫学と慢性疾患の疫学の相異点、個々の健康事象についての疫学等について講義する。 関連科目：「公衆衛生学」「研究の基礎」(両学科)、「公衆衛生学実習」(臨床検査学科)、「保健統計学」「保健統計学演習」(公衆衛生看護等選択者)				
授業目標	疫学は人間集団の健康事象発現に関する法則性を見いだす科学であり、疫学的な調査方法、解釈のしかた等を学び、実践活動に疫学的考え方を生かせるようにする。 疫学指標を説明できる。疫学指標を算出できる。主な研究デザインとその長所短所を説明できる。各種バイアスとその調整法を説明できる。生活習慣病と感染症の疫学知見を述べられる。				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	疫学の概念	疫学とは、疫学の歴史、最近の事象についての例	斉藤功
2	集団の健康事象の指標 (1)	頻度の測定 (率と比、罹患率と有病率、死亡率と年齢調整)	鳥居順子
3	集団の健康事象の指標 (2)	保健衛生統計指標の実際 (健康の測定と健康指標 [病気/死亡]、人口統計 [人口静態/人口動態/平均余命])	
4	集団の健康事象の指標 (3)	頻度の比較 (相対危険、寄与危険、オッズ比、寄与危険割合・人口寄与危険・人口寄与危険割合)	
5	対象の選択 スクリーニング	分母と分子、標本抽出 スクリーニングの要件、有効性の指標	
6	信頼性と妥当性 因果関係、交絡因子	信頼性と妥当性、誤差とバイアス 関連と因果、交絡因子とその調整	
7	疫学的研究方法 (1)	記述疫学と分析疫学、横断研究と生態学的研究	岡田克俊
8	疫学的研究方法 (2)	症例対照研究、コホート研究	
9	疫学的研究方法 (3)	介入研究、疫学研究と倫理	
10	感染症の疫学 (1)	基礎概念、流行、三大要因とその対策、主要感染症	鳥居順子
11	感染症の疫学 (2)	アウトブレイク時の調査と対応	
12	生活習慣病の疫学 (1)	脳血管疾患と心疾患の疫学、その相異点	斉藤功
13	生活習慣病の疫学 (2)	がんの疫学	岡田克俊
14	生活習慣病の疫学 (3)	糖尿病・高脂血症の疫学、若者の疫学、ほか	
15	その他事象の疫学	トピックス、まとめ	斉藤功
成績評価方法	斉藤非常勤講師担当分野 20%、岡田非常勤講師担当分野 30%、鳥居准教授担当分野 40%、受講態度 10%と配点し、総得点で評価する。		
教科書	日本疫学会「はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第2版」(南江堂)		
参考図書等	鈴木庄亮「シンプル衛生公衆衛生学 2017」(南江堂) 柳川洋・坂田清美「疫学マニュアル 第7版」(南山堂)		
備考			